

## 1 実施方法

学校関係者評価委員会（学校評議委員会）に、自己評価の結果を資料として示し、本校の自己評価が適切に行われているかどうか、また、教育活動全般における取組が適切かどうか等について評価を受けた。

## 2 実施日時

2月21日（水） 14：30～15：30

## 3 学校関係者評価の結果（所見および指導助言）

- （1）吹奏楽部やコーラス部等、地域行事への参加依頼はできるのか。学校のことを地域に知ってもらうよい機会にもなると思う。
- （2）川棚高校を盛り上げたいという思いは地域全体の思いでもある。SNS等の情報媒体を用いて情報発信をしてみようか。
- （3）主役は生徒であること意識した指導をお願いしたい。
- （4）校則の改訂について、ルールをわかりやすくすべきではないか。
- （5）川棚高校に行っても進学はできないといううわさがある。これを払しょくできれば志望者も増加するのではないか。
- （6）子どもたちの主体性を伸ばしてほしい。狭義の学力ばかりではなく生きる力を育む機会を設けて欲しい。
- （7）生活総合科の地域の小学校への技術指導は教える生徒の側にとっても価値のある体験である。是非自信につなげて欲しい。
- （8）予習・復習については、何度も繰り返し言い聞かせながら子どもたちを伸ばしてほしい。

以上の指摘を受け、以下の確認を行った。

- （Ⅰ）コーラス部、吹奏楽部、放送部が地域の音楽祭や文化祭に参加協力。
- （Ⅱ）HPにより、こまめに行事の活動状況報告や告知を行う等、積極的な活用に努めた。
- （Ⅲ）年2回のオープンスクールや地区別学校説明会等において、生徒が主体となって説明を行う場を新たに設定した。
- （Ⅳ）生活総合科の取組については近隣の小学校や保育園等の活動等の実践的な活動等で一定の評価を得ているが、今後さらに、各種検定合格率の向上等も目標に掲げ、子どもたちに自信をつけさせるべく努力する。
- （Ⅴ）子どもたちの主体的な学びを支援するために、スタディサプリを導入した。今後より一層活用推進に努める。
- （Ⅵ）生徒募集に関しては、近隣中学校との連携を密にして本校のことをこれまで以上に知ってもらうよう努めている。今年度は昨年度に比べ志願者も増加している。